

さつま町内の20区公民館が取り組んで特色ある活動、イベントなどを紹介しています。



館長 兎玉清美さん

虎居地区は、町の中心市街地を2分する川内川の北西部に位置し、街部と農村部に分かれています。街では、消費者にやさしい個性ある商店街づくりに取り組んでいます。農村では、県営甫立原農地開発(畑地)や県営一ツ木地区農村整備(水田)を中心に、梨、たばこ、茶、甫立西瓜など路地野菜の団地化、大豆、飼料などの大規模集団水田転作が行われています。また畜産も盛んな地域です。

当地区は昨年の7月豪雨災害で大変な被害を受けました。災害復旧におきましては、多くの皆様から心温まる物心両面のご支援を頂きました。おかげさまで、復興の兆しが見えてきました。誠に有り難うございました。



虎居区

◆人口 3,361人

◆世帯数 1,428世帯

◆公民会数 15公民会

地域活動



毎年、ふれあい農園を設置し、園児・児童・生徒のふるさと探検隊を結成し、農業・農村とのふれあいや史探訪・工場見学などの体験活動を交互に実施し、子ども達に喜ばれています。また、環境美化活動や健康づくり事業も年々盛大になっています。

イベント



2年に1回のふれあい文化祭は、公民会ごとに工夫を凝らした演芸や展示品が出品されます。また、同時にえびす・大黒祭りやふるさと探検隊のもちつき、そば打ちなど、その年の生産物の加工体験が行われ、賑やかなイベントになっています。

感謝祭



12月3日、昨年の豪雨災害時に多くの皆様の温かい支援により、商店街が立ち直りつつあることから、虎居地区商店街が協力し、感謝の気持ちを込めて「きばってます虎居。感謝祭」を開催しました。復興への希望が持てた感謝祭となりました。

伝統的行事



霧島神社の秋の例祭に轟原の鷹踊りが奉納されています。昔は、太鼓踊り、秋津州舞、棒踊りなども奉納されていました。また、毎年7月第1土曜日には、恵比寿神社の虎居夏まつりが行われ子供みこし、悪喰いで賑わっています。